

動く列車内でトレーニング体験 JR九州と連携企画



インストラクターはトレーナー一部学生
「筋トレイン」発車!



写真左は、電車の揺れを利用した筋トレを行う参加者たち。右は、インストラクターを務めた本学トレーナー部の学生たち

動く列車内でトレーニングを体験する「筋トレイン」が7日（土）に開催され、熊本県内外から参加した15人が、JR九州が用意した2両編成の特別貸切列車に乗り込み、熊本駅一大牟田駅間を往復する約4時間で「新感覚フィットネスツアー」を堪能しました。

JR九州と本学が産官学連携イベントとして企画。「観光×健康×地域資源」をテーマに、地域の魅力発信と健康づくりを組み合わせた新しい取り組みとして、昨年9月から準備を進めてきました。大学には「健康」と「地域資源」の専門的な視点に加え、学生の企画力や実践力への期待も寄せられていました。

当日は、教員2人（久保下亮准教授、枝尾久美講師＝理学療法学専攻）に引率された本学トレーナー部の学生9人がインストラクターを務めました。熊本駅を出発後は、ストレッチに始まり、障害物リレー（障害物リレー）、車内での体幹・下肢トレーニング、プッシュアップ選手権（2分間回数競争）な

ど、バラエティー豊かなプログラム。折り返しの大牟田駅ではタンパク質を意識したランチ交流を行いました。最後はクールダウンストレッチと表彰式で締めくくりました。

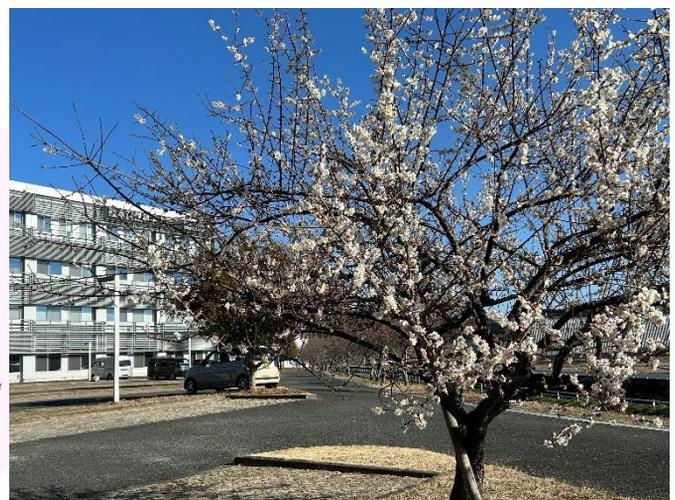
動く車内という普段とは異なる環境でのトレーニング指導は、学生にとって安全管理や状況判断、参加者とのコミュニケーションを実践的に学ぶ貴重な機会となりました。トレーナーを務めた米田悠平さん（理学療法学専攻3年）は「前例がないため、企画会議の段階ではさまざまな問題にぶつかり、その度にみんなで話し合いをしていきました。本番は不安がある中での挑戦になりましたが、参加されている方々の熱気もあって、とてもいい雰囲気でした。トレーニングできたと思います」とコメントしました。参加者からも好評で、「また開催してほしい」という声が聞かれました。

（理学療法学専攻 枝尾久美）

春の日差しを浴びて…

2月も下旬となり、日差しにも持ち力強さが増してきました。学内の梅がほころび始める中、3号館側駐車場では一足早く杏の花が満開を迎えようとしていました。折しも国家試験の時期です。ベストを尽くした受験生の皆さんの願いが、花開きますように。（NL編集部）

今週の1枚



「就勝ガイダンス」…早め対策で意欲高める

看護学科、医学検査学科3年次生

就職活動に向けた「就勝ガイダンス」を6日（金）に看護学科3年次生、12日（木）に医学検査学科3年次生を対象に行いました。

両学科とも90%を超える参加があり、リクルートスーツを着用した100人余りの就活生が集いました。学生たちは、履歴書対策講座・小論文対策講座・面接対策講座など全8ガイダンスを受講。終了後の学生アンケートには、「就職活動への意欲が高まった」「就職活動における「軸」を具体化かつ明確化する」「自己分析の重要性を感じた」など、前向きな言葉が寄せられました。

いよいよ本格始動する就職活動。「主体的・計画的・早期着手」をキーワードに、納得のいく進路を実現できるよう願っています。

（就職・実習支援課）



スーツ姿で、真剣に講師の説明を傾ける看護学科の学生たち

始動！ 新年度に向け学生指導員

初会合で意気込み「仲間と成長したい」

アカデミックスキル
支援センター

レポート

初会合で、抱負を語る
学生指導員



2026年度学生指導員メンバー

新年度の学生指導員は次の通り。

▽上級学生指導員 松本渉夢（リハビリテーション学科理学療法学専攻3年）、齊藤里歩（看護学科3年）、石川明嘩（同2年）

▽学生指導員 四海暁理（看護学科1年）、木下瑠莉、嶽本美羽音、向井愛美、横田望安（以上リハビリテーション学科作業療法学専攻1年）

アカデミックスキル支援センターでライティング関連を中心とした学修支援や授業コンテンツ開発などにかかわる学生指導員の、新年度の顔ぶれが決まりました。既に、新メンバーが新入生に向けたメッセージ動画づくりに着手するなど、意欲的に活動を始めています。

新年度の学生指導員は8人。3人の上級指導員に加え、新たに5人の1年次生が仲間入りしました。16日（月）の初会合では、新指導員が「先輩、先生、仲間と成長したい」「（リーダー学生を共にした）仲間と、また頑張りたい」などと抱負を述べました。指導に当たる渡邊淳子教授は「活動を通じ、本質を見極めた上で判断し行動できる力をつけてほしい。それによって、人生の幸せ度を上げましょう」とエールを送りました。

現在、上級指導員はセンターPR動画、新指導員たちは新入生へのメッセージ動画を作成しています。リーダー格の松本渉夢さん（リハビリテーション学科理学療法学専攻3年）は、「メンバーが増えてにぎやかになりそう。第一線に立ちながら、背中を見てついてくる後輩指導員たちのバックアップもしていきたい」と意欲を見せています。

学生指導員は、「アカデミックスキル」科目で授業をサポートするリーダー学生の指導に当たるほか、動画やスライドを含めたコンテンツの開発・作成も手掛けるなど、同科目の授業づくりに深く関与します。また、週1回程度の定期研修や年2回程度の特別研修などを通じ、個人的なスキルの向上を図ります。（アカデミックスキル支援センター）

■杉森高生徒が模擬授業体験 杉森高校（福岡県柳川市）の普通科医療総合コース1年生11人が13日（金）、本学を訪れました。一行は、医学検査学科（永田和美准教授）、看護学科（荒尾博美教授）、リハビリテーション学科言語聴覚学専攻（宮本恵美准教授）の模擬授業を受講しました。来学した生徒はいずれも医療系に興味関心を持っているということで、熱心に耳を傾けながら医療機器を扱っていました。また、昼休みはレストランで昼食を取り小休止。訪問の最後には在学学生の話聞き、未来の姿を思い浮かべている様子でした。（入試・広報課）



看護学科の模擬授業を受ける杉森高の生徒たち

インフォメーション

週間行事予定（2月24日～3月2日）

2/25（水）	学生支援に関する講演会
2/27（金）	ハラスメント防止研修会 生成AIを活用した議事録作成に関する研修会 事務職員による勉強会（仮称）
2/28（土）	熊保大退職者の会